

「大迷惑 OneDrive」について

★ OneDrive が「大迷惑」と言われる理由

- **自動同期が勝手に始まる**
Windows 11 では Microsoft アカウントでサインインすると、ドキュメント・写真・デスクトップなどが自動的にクラウドと同期される。
- **容量不足の警告が頻繁に表示される**
無料プランは 5GB までなので、すぐに「空き容量が足りません」「ストレージがいっぱいです」と警告が出る。
- **PC の動作が重くなる**
裏で同期処理が走るため、リソースを消費して動作が遅くなることも。
- **通知やポップアップが多い**
作業中に割り込んでくる通知がストレスになる。

🌀 迷惑な同期を止める方法

◆ 特定フォルダーの同期を停止する

1. タスクバーの OneDrive アイコンをクリック
2. 「設定」→「バックアップを管理」
3. 同期したくないフォルダー（例：デスクトップ）をオフにする

◆ OneDrive の完全停止

1. OneDrive アイコン → 「設定」 → 「アカウント」
2. 「この PC からリンクを解除する」を選択
3. 必要なら「OneDrive の終了」も実行

◆ アンインストールする方法

- スタートメニュー → 「すべてのアプリ」 → OneDrive を右クリック → 「アンインストール」

※アンインストールしてもクラウド上のファイルは残るので、必要なら手動で削除。

💡 代替手段やおすすめ設定

- 外付け HDD や USB メモリでバックアップ
- Google Drive や Dropbox など他のクラウドサービスを使う
- ローカル保存を基本にして、必要なときだけクラウドにアップ

🗑️ OneDrive をアンインストールする方法 (Windows 11)

✅ スタートメニューからアンインストール

1. 画面左下の「スタート」ボタンをクリック
2. 「すべてのアプリ」または検索窓に「OneDrive」と入力
3. OneDrive が表示されたら、右クリック → 「アンインストール」

※この方法で OneDrive アプリが PC から削除されます。

- クラウド上 (onedrive.com) に保存されたファイルは削除されません。
- 同期は止まりますが、再インストールすれば再開可能です。
- Microsoft アカウントの設定によっては再起動後に復活することがあります。その場合は「この PC からリンクを解除」も行ってください。

もし完全に使わないなら、**「リンク解除＋アンインストール」**の組み合わせがベストです。

OneDrive (ワンドライブ) は、Microsoft が提供するクラウドストレージサービスで、インターネット上にファイルを保存・共有・同期できる仕組みです。

🔄 OneDrive の基本的なしくみ

- **クラウドストレージとは？**
インターネット上にある「仮想の倉庫」にファイルを保存する仕組み。PC やスマホの容量を使わずに、どこからでもアクセスできる。
- **Microsoft アカウントでログイン**
OneDrive を使うには Microsoft アカウントが必要。ログインすれば、保存したファイルにどの端末からでもアクセス可能。
- **同期機能**
PC の OneDrive フォルダーに保存したファイルは、自動的にクラウドと同期されます。つまり、同じファイルがクラウドにも保存され、他の端末でも見られるようになる。
- **共有機能**
ファイルやフォルダーを他人と共有可能。メールアドレスを指定するだけで、リンクを送って共同編集もできる。

- **バックアップ機能**

PC の「デスクトップ」「ドキュメント」「画像」などを自動でバックアップ。万が一 PC が壊れても、クラウドから復元できる。

対応端末とアプリ

端末

利用方法

Windows PC	標準搭載。エクスプローラーから直接操作可能
Mac	専用アプリをインストールして利用
iPhone / Android	モバイルアプリで閲覧・編集・アップロード可能
Web ブラウザ	OneDrive 公式サイト からアクセス可能

便利な使い方の例

- 外出先でスマホから資料を確認・編集
- 家族やチームと写真やドキュメントを共有
- PC の故障時にクラウドからファイルを復元
- スマホの写真を自動でクラウドにバックアップ